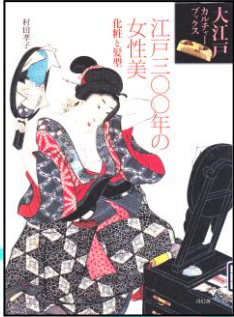




# 図書・資料室だより

## 春は色鮮やかにキメて! ～化粧と装いの文化史～

3月8日は「国際女性の日」



『江戸三〇〇年の女性美』  
村田孝子:著 青幻舎 2007年

『近代の女性美』  
ポーラ文化研究所 2003年

江戸期から昭和の初めのころまでの女性の化粧や髪型の歴史がビジュアルでわかる。江戸から明治と西洋のものが取り入れられた頃の変化がわかる。



『いのちを纏う  
色・織・きもの思想』  
志村ふくみ・鶴見和子:著  
藤原書店 2006年

『それいゆ 復刻版』  
ひまわり社 2000年(復刻版)

昭和21年創刊、中原淳一によって編集された婦人雑誌『それいゆ』。中原淳一の女性のイラストや服飾デザインがとても美しく斬新な雑誌です。今の装いに取り入れたいヒントがたくさんあります。



着物大好きな社会学者と人間国宝の染色家の二人が、着物の思想や今後の着物文化について語る。

洋服が主流の現代、天然の染料で染められた着物の貴重さ味わい深さがわかる一冊。

## 気になる話題の本



## 科学に生きる女性たち

2014年1月、30代の若手研究者・小保方晴子さんが万能細胞作製の成功を発表し世界中から称賛され話題となっています。小保方さんの人柄や服装などにも注目が集まっているようですが、科学研究に生きる女性たちの本を読んでみませんか？

『南極に暮らす  
日本女性初の越冬体験』  
坂野井和代・東野陽子:共著  
岩波書店 2000年

日本の南極観測史上初めて、1997～99年、越冬隊への女性参加が実現した。2人の大学院生が「白い大陸」の男社会のなかで何を見、何を体験したのか。極寒と吹雪のなかの危険、息をのむオーロラの神秘から、お花見もサッカーも楽しむ暮らしまで、知られざる実情の報告。



『理系女子的 生き方のススメ』  
美馬のゆり:著  
岩波ジュニア新書 2012年

著者のこれまでの研究生活を織り交ぜながら理系研究職の面白さ、奥深さを熱く語る。

理系を目指したい若い方はもちろん、理系の世界ってどんなの？知りたい！という方にも。

『白梅のように 化学者 丹下ウメの軌跡』  
蠟川芳子・宮崎あかね:共著  
化学工業日報社 2011年

子どもの頃、木の皮を煎じて薬のようなものを作って遊ぶのが好きだった丹下ウメ。やがて、女性科学者の道を歩む。日本の女性で初めて農学博士号を取得、82歳でこの世を去るまで研究一筋に邁進した人生は、日本女性科学者の道を切り開いた先駆的存在。

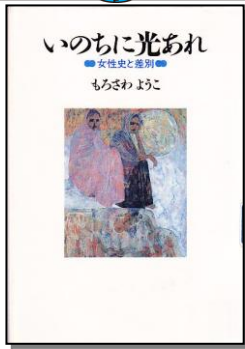


滋賀県立男女共同参画センター  
理系女子シンポジウム「世界に羽ばたく 理系女子」

2014年3月15日 13時～ 坂野井和代さん講演会  
「夢をカタチに！南極に行きたい！」

女性で初めて南極越冬隊員となられた坂野井和代さんが、南極体験や研究活動についての貴重なお話をさせていただきます！！

# おすすめの1冊



『いのちに光あれ 女性史と差別』  
 もろさわ ようこ:著 径書房 1992年

3月8日は国連の記念日である「国際女性の日」です。1975年の「国際女性年」をきっかけに、女性の権利と世界平和を願って毎年、世界各地で集いが行なわれています。「国際女性の日」にちなんで、女性史研究家で女性解放運動に力を注いだもろさわようこさんの著書を紹介しします。

女性の側からみた歴史はどういったものであるか。その時の支配者の都合でそれまでの行いが変化したり考えを曲げられたりして歴史が形成されてきた。女性の人権や差別を歴史上の事実を踏まえて、あるいは私たちの生活の中でなにげない言葉や慣習にも女性差別がふくまれているということを知りやすく語っている。

本書はもろさわさんが各地で講演された講演録です。

## 過去の新聞からピックアップ

### 【「ぎっちらこ」女性船頭水郷めぐりデビュー】

近江八幡市の水郷めぐりに、専属の女性船頭さんがデビューすることになり、試乗会が行なわれた。

まるやま水郷めぐり観光では、男性の漕ぎ手が高齢化したため、かつては田舟を漕いでいた農家の主婦5人を船頭さんに依頼。試乗会では、自生するヨシの間の水路を「ぎっちらこ ぎっちらこ」と櫓を漕ぐ見事な手さばきを披露した。

(2000年3月9日付 産経新聞)



図書・資料室では  
 「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を  
 1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



『つなみてんでんこ はしれ、上へ!』

指田 和:文 伊藤秀男:絵  
 ポプラ社 2013年

5時間目があと少しで終わろうとしたその時、大きな揺れ!地震?!大津波がくるぞ!!津波警報が空いっぱいに鳴り響く中、ぼくは「つなみ、てんでんこ」の言葉を思い出した。何度も身の危険を感じながら、みんなで必死になって大津波から逃げきった。

2011年3月11日、東日本大震災。大津波を生き延びることができた釜石の子どもたちのドキュメント。

### …図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

3月の休室日 3日、10日、17日、22日、  
 24日、31日

貸出 本・雑誌:15冊 3週間  
 ビデオ:2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)  
 0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

2010年2月より、毎月発行を続けておかげさまで第50号を発行することができました!

今後もいろいろな本をご紹介しますので、ご愛読よろしくお祈いします。(に)



# 図書・資料室だより

めざすは、☆☆な私へ!

習い事を始めたい! 旅をしてみたい! 健康になりたい!  
「めざすは、こんな私!」がありますか?

様々な境遇の中で目標や困難に挑む姿を描いた小説や  
体験記、なりたい自分になるための術を紹介した本などを  
ご紹介します。



『ローカル線で行こう!』  
真保裕一: 著 講談社 2013年  
篠宮亜佐美31歳は新幹線の接客業経験をかかれ、赤字ローカル線の鉄道会社の新社長に抜擢される。持ち前のバイタリティと突飛なアイデアで果敢に挑む亜佐美のペースに周囲も巻き込まれて...  
仕事の魅力、楽しさが伝わってくる小説。



『大人のための  
お稽古ごと入門』  
杉山由美子: 著  
岩波書店 2007年  
人生50歳からが本番。  
やりたいことはいくつになっても始められる。お稽古に限らず、ボランティアでも、サークル活動でも。思わず、何か始めたくなる本。



『女ひとり 玉砕の島を行く』  
笹幸恵: 著 文藝春秋 2007年  
戦争とは縁もゆかりもない30代の女性が慰霊巡拝の旅に出ることを決心。  
何がきっかけか?  
教科書で習った歴史と事実との違いに、知れば知るほど心が疼く。本当は何かがあったのか、その土地に行けばわかるかも知れない。そんな思いが彼女を巡拝の旅へと突き動かした。人生観が変わる旅をしてみたいくなる本。



新しい冊子が誕生しました

女性の活躍応援情報誌

『CARAT滋賀2014』

滋賀県男女共同参画課: 編集発行

滋賀の経済・地域活性化に求められる女性の活躍。県内企業の実践事例や起業にチャレンジする女性を紹介。

## 『彼女たちの年齢革命』

一田憲子: 著 主婦と生活社 2007年  
若い頃は憧れの人になれると思っていた、でも年を重ねるごとに自分は自分にしかないと気づく。  
様々な出来事を経て、年を重ねてきた10人の女性たちが「年齢」とはどんな意味を持つのかを語る。  
これから先、どのように歩んでいこうか?  
共感できる生き方が見つかるかもしれません。



気になる  
話題の本



<第150回 直木賞受賞作>  
『昭和の犬』  
幻冬舎 2013年

昭和 33年、滋賀県のある町で生まれた柏木イク。奇異に振舞う両親のもとで育ったイクの半生を犬とのエピソードを織り交ぜながら綴る。

滋賀県 第1号!  
祝・直木賞 受賞!!

## 姫野カオルコさん

1958年 滋賀県甲賀市生まれ。  
『ひと呼んでミツコ』で作家デビュー。これまでも4回、直木賞候補に挙がっている。

受賞作『昭和の犬』は滋賀県にある架空の都市「香良市」が舞台となっている。姫野さんの作品には滋賀県を思わせる風景がしばしば描かれている。

# おすすめの1冊



『宮中賢所物語 五十七年間皇居に暮らして』

高谷 朝子 著 ビジネス社 2006年

宮中三神殿の一つである賢所において神様に仕える女性たち「内掌典」の一日を語る。現在では公務員に準ずる内廷の職員に位置づけられる内掌典。拝命後は皇居に住み、御殿に仕える身であるため、清めに始まり清めで終わる。

「穢れ」に対する徹底したしきたり、言葉や食事、着物、髪型(おすべらかし)に至るまでその作法には徹底している。全ては伝統を守るためにあり、その生活は一般社会には馴染みがなく驚く内容。

著者の高谷朝子さんは滋賀県大津市出身。昭和18年(1943年)から平成13年(2001年)まで賢所で仕えられた方。

57年の年月の中で感じた皇居の変化、日々の楽しみや内掌典となった経緯などを美しい御所言葉で綴る。

## 過去の新聞からピックアップ

### 【働く女性を支援 県内初のセンター設置】

大津市と近江八幡市に働く女性たちの仕事と家庭の両立を支援するファミリーサポートセンターが県内で初めて設置された。

ファミリーサポートセンターは国が1994年度から設置を進めており人口5万人以上の市町村が設けることができる。

会員制の組織で働く女性を中心とする依頼会員が急用や残業で育児や介護に困ったとき、主婦ら提供会員が一時的に子供を預かったり、高齢者に食事を作ったりする。

県民から「知事への手紙」として届く意見にもこのような制度を作って欲しいという声が寄せられていた。

(2001年2月28日付 読売新聞)



図書・資料室では

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



『おんなじ、おんなじ！

でも、ちよっとちがう！』

ジェニー・スー・コステキ=ショー 作

宮坂 宏美 訳 光村教育図書 2011年

アメリカのエリオットとインドのカイラシユ。木登りが大好きな二人は、お互いの住んでる街や学校のこと、家族のことを伝えあい、おんなじ?でも、ちよっとちがうなど感じる。

二人は違うからこそ、お互いを知ることが楽しくて、いつの間にか友だちになっていきます。国や文化の違いを越えてわかり合えることって素敵なことです。

## …図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

2月の休室日 3日、10日、12日、17日、24日

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

ある雑誌のアンケートに答えたら、なんと、当選!選ばれし5名に入りました! 年末ジャンボ宝くじも年賀はがきくじも全滅だったので、嬉しい出来事でした!(に)



# 図書・資料室だより

## 心をそっと押してくれる 絵本&児童書

子どもの頃に大好きだった絵本や読み物はありますか？  
何度も読み返してみたり、なぜか心がホッとしたり。

子どもの本には、自分らしく、のびのびと夢を持って生きていって欲しいという作者からのメッセージや子ども時代を楽しく幸せにと願う心がこもっています。

何かに挑戦したいときや困難にぶつかったとき、心をそっと押してくれるようなお話を集めました。

**児童作家の角野栄子さんが「東燃ゼネラル児童文化賞」を受賞されたことを記念して、角野栄子さんの本を中心にをご紹介します。**

### 『魔女の宅急便』

角野栄子 著 福音館書店 1985年

魔女の子キキは 13 歳になった満月の夜に、ひとり立ちの旅に出ました。黒猫のジジも一緒に。

新しい街で、キキは喜んだり悩んだり。そして恋をして、立派な女性へと成長していきます。少女から大人への心の変化と成長を描いた角野さんの代表作です。

♡人生の節目で読み返したくなるお話です。

(全6巻 ※当室では1巻~5巻まで所蔵)



### 『ナナさんは あみものやさんです』

角野栄子 作 高林麻里 絵 リプロ 1994年

ナナさんは、あみものやさんです。お客さんのどんな注文にもいろいろ工夫をして、望みどおりに完成させていきます。時にはいろいろな色の毛糸を探すために散歩をしたり、お嬢さんを夢見たり...

♡工夫次第でいろいろな方法があることに気づかされるお話です。自分のお店を持ちたい女性にも、どうぞ。



『さよならママ ただいまママ』  
角野栄子 作 高林麻里 絵  
あすなろ書房 1992年

子どもの反発や冒険を、陰でそっと見守るお母さん。

♡いつも応援してくれるあの人に感謝したくなるお話。

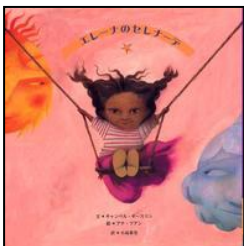


### 『エレーナのセレナーデ』

キャンベル・ギースリン 文  
アナ・ファン 絵 小島希里 訳  
BL出版 2004年

父さんのようなガラス吹き職人になりたいと思うエレーナ。でも父さんに女の子は「ダメだ」と反対されてしまう。あきらめきれないエレーナは、ガラス吹き職人の町へと旅に出る。

♡やりたいことをやりぬく強い気持ちが描かれている絵本。



### 『くまとやまねこ』

湯本香樹実 文 酒井駒子 絵  
河出書房新社 2008年

友だちの死から立ち直れずつらい日々を送っていたくま。やまねことの出会いで、本当の「お別れ」をすることができ、徐々に元気を取り戻していきます。

♡死や別れを大切に思う気持ちに、心が癒されます。



## 心をそっと押してくれる絵本&児童書



### 『百まいのドレス』

エレーナ・エステイス 作  
ルイス・スロポドキン 絵  
石井桃子 訳  
岩波書店 2006年

人をからかったり、仲間はずれにしたとき、どんな気持ちになるでしょう？このお話に登場する女の子たちもあることがきっかけで、自分たちの過ちに気づき、あやまろうと決心します。

とても勇気のいることですが、それを乗り越えたときの気持ちは、清しく気持ちの良いことと感じるでしょう。

♡本当の友だちとは？人との関係を見直したいときにおすすめです。



# おすすめの1冊

『農業を支えた女たち 明るい農村をめざして』

早田リツ子 著 かもがわ出版 2013年



滋賀で女性史を研究されている早田リツ子さんは、最初の著書『野の花のように』から滋賀の農村を支えてきた女性たちに焦点を当て聞き取りを行ってきた。本書はその三作目となる。

北海道の開拓地で育った幼い頃の記憶が、農村を支えてきた女性たちの存在を知っておきたいという原動力となって、聞き取りが始まった。農村女性たちの暮らしや健康に関わって尽力された「生活改良普及員」の稲垣澄子さんや助産師の小倉キクさんらの生涯をたどる。

戦後の滋賀の農村での女性たちの暮らしを振り返り、これからの農業に従事する女性たちの展望を考える。



## 過去の新聞からピックアップ

### 【被害者にソフトな印象

#### 県警が女性警察官に特製ジャンパー配布

県警は被害者対策の一環として、制服よりソフトな印象を与える特製ジャンパーを女性警察官に配布、心身両面で傷ついた被害者の病院への送り迎えなどの活動時に使用してもらう。捜査活動で被害者と接する時に相手の心の負担を少しでも和らげようと全女性警察官を対象に作製。

県警は事前に女性警察官にアンケート調査を実施してジャンパーの形や色を選んだ。

(2000年1月19日付 京都新聞)



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



### 『おめでとう おひさま』

中川ひろたか 作 片山健 絵  
小学館 2011年

新しい年、おひさまが顔を出しました。  
海のみんな、山のみんなが、おひさまにむかっておめでとう！のごあいさつ。  
さて、今年はどんな年にしたいかな？  
おひさまのぬくもりとパワーが感じられ  
そうな、新年にピッタリの絵本です。

## …図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

1月の休室日 1~4日、6日、14日、20日、27日

貸出 本・雑誌：15冊 3週間

ビデオ：2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

2014年が始まりました！今年はどうな年になっていくのでしょうか？  
星座占いや暦など、あれこれ見て、良いのか？悪いのか？  
結局、苦あり幸ありの一年なんですよ。  
今年もよろしくお願ひ申し上げます。(に)



# 図書・資料室だより

## 追悼 2013 今年亡くなった女性作家・著名人をしのぶ

2013年も残すところ僅かとなりました。

追悼の意を込めて、今年亡くなられた女性作家・著名人の著書をご紹介します。



高野悦子 岩波ホール総支配人

### 『私のシネマライフ』

エキブ・ド・シネマを主宰し世界の埋もれた名画の上映に力を注いだ。本書には、総支配人となったいきさつや映画への思いが語られている。



山崎豊子 小説家

徹底した取材をもとに、人間像を鋭く描写した小説は、社会的反響が大きい。

### 『華麗なる一族』

不気味で巨大な権力機構「銀行」をテーマにした力作。



北原亜以子 小説家

作家として一度は挫折するも、40歳で時代小説家として再デビューを果たす。

### 『恋忘れ草』は直木賞受賞作。

江戸の町に生きるしたたかで繊細な女性たちを描いた作品。



田中宥久子

ヘア&メイクアップアーティスト

### 『生きる美学』

女性を美しくするための研究に力を注ぐ。颯爽とした佇まいと、美を追求した生き方に多くの女性の共感を得た。



高橋たか子 小説家

### 『亡命者』

人間の内面を深く追求した作風で高い評価を受ける。本書は、作者自身がカトリックの洗礼を受けフランスで体験した観想修道生活を題材にした長編小説。

大橋鎮子  
編集者 エッセイスト

### 『「暮しの手帖」とわたし』

花森安治と衣装研究所(現・暮しの手帖社)を設立し社長となる。戦後間もない頃、物がなくても暮しに豊かさを届けたいと雑誌を創刊。



マーガレット・サッチャー  
イギリスの政治家

### 『サッチャー回顧録』(上・下)

1979年初の女性首相。保守的かつ強靱な性格から「鉄の女」という異名をもつ。80年代の政治的大変化の中で首相を務め、20世紀を変えた女性が語る歴史の真実。



## 気になる話題の本

### 新しい本

女性が社会進出し晩婚化が当たり前となった現代。「卵子凍結バンク」、「出生前診断」や「男性不妊」など医療の高度化に伴い妊娠出産事情も変化しています。現代の妊娠出産と女性の悩みや痛みを取材した本です。

『このとり追って 晩産化時代の妊娠・出産』  
毎日新聞取材班 著 2013年

『産みたいのに産めない 卵子老化の衝撃』  
NHK取材班 著 文藝春秋 2013年



# おすすめの1冊



『イラクサ』

アリス・マンロー 著 小竹 由美子 訳

新潮社 2006年

2013年ノーベル文学賞受賞作家の本

「短編小説の女王」と賞されるアリス・マンローの作品は、短編でありながらも、なにげない日常の中に人々の心の機微を繊細に描き出した読み応えのあるもの。表題作の「イラクサ」は、旅仕事の父に伴われてやってきた少年とある町の少女との儚い想い。長い年月を経て再会した二人はそれぞれの人生の喜びと苦難、幼き頃の思い出の中に特別な絆を見出す。他8編。



## 過去の新聞からピックアップ

### 【パパの自覚持ってね

#### 大津で初出産予定カップルの教室

(1999年12月19日付 京都新聞)

もうすぐ第一子を出産予定のカップルを集めた「初めてのパパママ教室」が大津市総合保健センターで開かれた。妊娠6～8ヶ月の妊婦とそのパートナー20組が、出産への備えや新生児の育て方などについて理解を深めた。妊婦対象の母親教室はこれまで保健所や病院などでも開かれてきたが、今回はパートナー同伴が条件。父親としての自覚を促そうと、大津市が初めて企画した。



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

## 男女共同参画社会で育む... 絵本・子どもの本



『きいて きいて』

たかぎ ちず 作・絵

長崎出版 2012年

子どもの話をきいてあげる。簡単なことだけれど、忙しかったり、何かに気を取られていたりすると、あいまいな返事だけで、きいてあげてないことがあると思います。

この絵本には話をきいてほしい男の子のさみしい気持ちがとてもよく描かれています。お父さんと男の子の父子家庭の様子が描かれていますが、どこの家庭でもみられる風景です。絵本を閉じる頃にはにっこり笑顔になれる絵本です。

### ...図書・資料室 ご利用案内...

開室時間 9:00~17:00

12月の休室日 2日、9日、16日、24日、  
28日~1/4まで年末年始のため休室します。

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

一年はあっという間のようで、いろいろな出来事や心境の変化があるものです。一年を振り返ると月日の流れが感じられます。

来年もどうか幸多き年でありますように。





# 図書・資料室だより

## 「仕事と生活の調和推進月間」

**働き世代、子育て世代向きの本を集めてみました。  
普段のライフスタイルを見直す機会にいかがですか？**

『これからも働き続けるあなたへ  
働く女性の不安をやわらげる42の処方箋』  
太田 彩子 著 大和書房 2012年

女性は、結婚、出産、子育てとライフイベントによって働き方が大きく変化する。本書は、今の仕事を継続できるように、その時その時のライフイベントごとに働き方や気をつけたいことをまとめている。流行や周りの雰囲気にならされない、自分のライフスタイルをしっかり見つめたい時に。



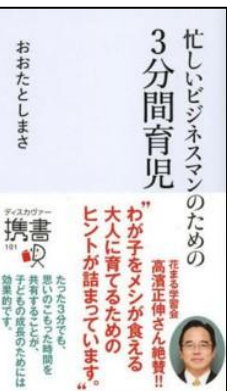
11月は「仕事と生活の調和推進月間」です。

滋賀県をはじめ滋賀県内の経済、労働団体、地域団体、市町などが一体となって、「多様な働き方」、「ゆとりある働き方」、「社会全体での子育て」、「多様な生き方の尊重」などを主に推進し、労働面や環境面の改善や実現に向けて取り組んでいます。

『フィンランド流イクメン MIKKOの  
世界一しあわせな子育て』  
ミッコ・コイヴマー 著  
かまくら春秋社 2013年

フィンランドでは妻が妊娠すると、「僕たちは妊娠しました」と言う。家族の重要なことだから当然という。男性も子育ての担い手という意識が定着しているフィンランド。しかし、男女平等社会の実現には数十年という長い歴史がある。

日本の先を行くフィンランド男性の子育ての様子を紹介。



『忙しいビジネスマンのための  
3分間育児』  
おおたとしまさ 著  
ディスカパートウエンティワン 2013年

子どもが6歳になるまで休日にべったり遊んだとして、その回数には1年間で50回、6年間として300回。これを人生3万日に換算すると、たったの1%だそう。しかし実際には1日24時間めまぐるしい生活の中で、一体どうしたらいいの？量より質、お父さんのための子育てのコツ。



『育夫ノススメ  
男を育てて女を磨く』  
終 直里 著  
どりむ社 2012年

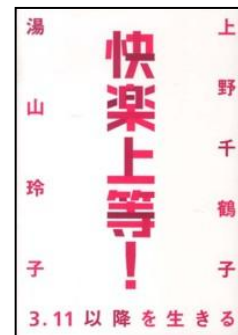
妻は自分のための仕事をもち、夫も思いきり仕事に打ち込める環境を作る。夫婦は「同士」「戦友」、妻も自立していれば幾多の困難も夫婦で乗り切れる。

主人公・恭子の育夫計画とは？ストーリー仕立てで夫婦の在り方を考える本。

新しい本  
いろいろ!

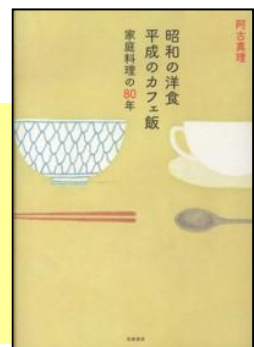
10月新着  
案内

『ザ・ミッション  
山本美香最終講義  
戦場からの問い』  
山本美香 著  
早稲田大学出版部 2013年  
亡くなられる3ヶ月前。  
山本美香さんの最終講義。



『快樂上等！  
3.11以降を生きる』  
上野千鶴子・湯山玲子 著  
幻冬舎 2012年  
3.11以降の男と女の「不都合な真実」と「その先の幸福」を語る。

『昭和の洋食  
平成のカフェ飯  
家庭料理の80年』  
阿古真理著  
筑摩書房 2013年  
家庭料理はどのように描かれ、作られてきたか。



# おすすめの1冊



## 『彼岸花の鎮魂歌 女性医師の世界』

大森 安恵 著 時空出版 1992年

糖尿病と妊娠に関する臨床および研究のパイオニアである大森安恵が綴る女性医師の世界。

2児の母親でもある彼女が、医師であるとともに女性として、母親としての思いを綴ったもの。

医師と男女平等論、研究のこと、仕事と子育ての苦労などを普段の言葉で語っている。



## 過去の新聞からピックアップ

### 【びわ湖シネマフェスタ

#### 「輝く女性」テーマに国内外の8作を上映

‘99びわ湖シネマフェスタが11月19日から28日まで大津市や草津市などの5会場で開催された。「時代を超えて輝く女性たち」をテーマに、女性監督の作品や女性の主人公が活躍する作品8作を上映。国内では、老境に達した役者の芸と日常に迫る羽田澄子監督の「歌舞伎役者・片岡仁左衛門」と、室井滋が演歌歌手を熱演する「のど自慢」を上映。海外からは、「刑務所でロックバンドを結成する女性囚人4人が主人公の「バンディッツ」(ドイツ)や18歳の女性監督による「りんご」(イラン)など。

(1999年11月13日付 朝日新聞)



図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

「滋賀県の男女共同参画社会づくりに関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



### 『きょうのごはん』

加藤休三 作・絵

偕成社 2012年

焼きさんまの表紙が印象的な絵本。

それぞれの家庭のそれぞれの夕ごはんの風景。家族みんなでつくるカレーライス、おじいさんのお祝いにお寿司、お父さん自慢のオムライスなどなど、どのページもおいしそうな夕ごはんと楽しそうな家族の様子が描かれています。

夕ごはんの様子をどこかからのぞき見ているのはだれかな？ページのどこかにヒントが。

## …図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

11月の休室日 5日、11日、18日、25日

貸出 本・雑誌: 15冊 3週間

ビデオ: 2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

何か新しい趣味を持ちたいなと思いつき、さっそく必要な物を買った。でも買って来たまま封を開けずに1ヶ月経ちました…。買い物が趣味だと思ふことになりました。(N)

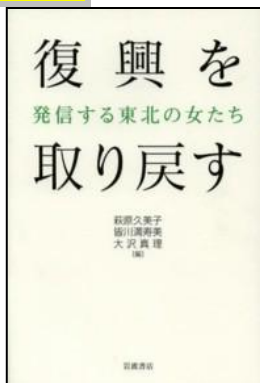
# 図書・資料室だより

この本、  
読んでみて!

10月13日~20日

「パートナーしかの強調週間」に  
読みたい本

10月13日~20日は、  
男女共同参画社会をめざす「パートナー  
しかの強調週間」です。  
男女共同参画を“知る、考える”に  
ピッタリな本を新着本よりご紹介しま  
す。ぜひ、この機会にご一読ください!



『復興を取り戻す 発信する東北の女たち』

萩原久美子・皆川満寿美・大沢真理:編 岩波書店 2013年

東北で活動する女性グループ、農業漁業を営む女性たちが、震災復興について総括し今後に向けて提言する。被災して感じたこととして、「女性は意見できる場がなかった」と振り返る。国や行政が進める復興だけでは女性や災害弱者の声はいつまでも届かない。将来につながる復興に必要なことは何か。生活、労働、住まいなど現場を知る女性たちの声をもとに考える。

この本には男女共同参画社会をめざすために必要なエッセンスが多く含まれている。

『妻が再就職するとき  
セカンド・チャンス社会へ』  
大沢真知子/鈴木陽子:著  
NTT出版 2012年

女性の再就職者は年々増加している。男性の雇用不安や給与減少も要因という。

女性も働き手となれば家計にも自分にも、どのようなメリットがあるのか。今後の日本の社会の変化を予測しつつ、大学や公共施設の再就職支援講座を紹介。様々なケースに応じたライフプランを提案している。



2冊合わせて読むと  
理解度もUP!

『女子のキャリア  
〈男社会〉のしくみ、教えます』  
海老原嗣生:著 筑摩書房 2012年

「30歳までに仕事も子どもも」と焦る若い女性たち。なぜこんなにも両方得るのが難しいのか。

著者は「女性だから」ではなく「時代や社会が追いついていない」からだという。

本書は女性がこの先キャリアを維持しつつ、自分の幸せも得るために知っておいてほしい現実、仕事での立ち回り方や見通す力などを伝授。

就活中や今の仕事に悩む女性におすすめです!

『「暮しの手帖」とわたし』  
大橋鎮子:著 暮しの手帖社 2010年

暮しの手帖社社長、大橋鎮子さんの自伝。

雑誌の創刊秘話や花森安治さんとの出会いや厳しい編集指導、雑誌作りへの思いなど、『暮しの手帖』とともに成長していく様子や当時の思い出が記された一冊。どんなことも無理とは思わない、いつも体当たりだった大橋さんの90年間の思いが綴られている。

『祈りよ 力となれ  
リーマ・ボウイー自伝』  
リーマ・ボウイー/  
キャロル・ミザーズ:著  
東方雅美:訳 英治出版 2012年

2011年ノーベル平和賞受賞者。  
14年間も内戦が激化するリベリアで、

平和を意味する白い服とターバンを頭に巻き大勢の女性たちが立ち上がった。リーマの平和に向けた地道な活動で女性たちの「平和への大衆行動」が実現した。のちにリベリア内戦の停戦実現に大きな役割を果たす。

この行動のリーダーであり平和活動家でもあるリーマ・ボウイーが、自身の生き立ちと、戦争報道ではわからない女性たちの真の姿を綴る自伝。



読書の秋  
何を読もうかな?

# おすすめの1冊



『ヒキタさん! ご懐妊ですよ 男45歳・不妊治療はじめました』  
ヒキタクニオ:著 光文社 2012年

“子作り”なんて考えたこともなかったという作家ヒキタクニオさんが45歳になって突然、子どもが欲しいと思いついた!が、しかし、なかなか“このとり”はやってこない……。その上、不妊の原因は自分にあることが判明。長い「懐妊トレーニング」が始まった。5年間、夫婦で数々の苦難を乗り越えたドキュメント。

男性不妊治療の体験を通して不妊治療の素朴な疑問や違和感、女性が受ける心身の苦痛とそれに対する自分への不甲斐ない気持ちを綴る。

子どもが欲しい!と願う夫婦の祈るような気持ち、命が宿ることへの尊さが伝わってくる。



## 過去の新聞からピックアップ

### 【県男女共同参画推進計画

県の52審議会など女性委員は176人

滋賀県は県男女共同参画推進計画の1998年度進捗状況を、同計画に定めた62項目の目標に対する98年度までの達成度の形で報告した。法律や条例で設置が定められた県の審議会等における女性委員数は52審議会920人のうち176人で19.3%。前年度より2.9ポイント上昇した。2010年度の目標値(30%以上)に対する達成度は64.3%。女性委員のいない審議会の割合は24.2%で前年度の27.3%より減った。一方、県内で女性の代表者または副代表者のいる自治会・町内会の割合は4.9%と前年度より0.1ポイント減少した。

(京都新聞 1999年10月5日付)

2010年度までの目標値  
**達成度は64.3%**

県の52審議会など女性委員は176人

県男女共同参画推進計画

図書・資料室では「滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事」を1998年3月よりファイル保存しています。

滋賀県の男女共同参画社会に関する新聞記事のファイル保存

## …男女共同参画社会で育む… 絵本・子どもの本



『いつもみていた ゆめをかなえた女の子 ジェーン・グドール』  
ジャネット・ウインター:作  
まえざわあきえ:訳 福音館書店

幼い頃から虫や動物が大好きだったジェーンは、いつかアフリカで暮らしたいという夢をもっていた。26歳のとき、研究の手伝いで、チンパンジーの住むタンザニアのゴンベの森に滞在することに。多くの謎を秘めるチンパンジーのヒミツを少しでも発見したい!と意気込みジェーンはゴンベへと出発。動物学者としての一生をかけた仕事が始まった。霊長類動物学者・ジェーン・グドールのおはなしを絵本でどうぞ。

★詳しく知りたい方は…

『森の旅人』ジェーン・グドール:著 をどうぞ。

### …図書・資料室 ご利用案内…

開室時間 9:00~17:00

10月の休室日 7日、15日、21日、28日、29日

貸出 本・雑誌:15冊 3週間

ビデオ:2本 1週間

TEL 0748-37-3735 (図書・資料室直通)

0748-37-3751 (センター代表)

県内在住・在勤・在学の方ならどなたでもご利用できます。



### ♪ひとこと♪

ごはんがおいしい季節になりました。野菜の直売所に出掛けると、いろいろな野菜を前にして素材を活かした野菜の料理が作ります。活かしているかどうかは別ですが…。(N)